

みずほCustomer Desk Report 2022/08/26号(As of 2022/08/25)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	136.99
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	137.11	0.9967	136.70	1.1795	0.6906
SYD-NY High	137.20	1.0033	136.98	1.1865	0.6991
SYD-NY Low	136.32	0.9949	136.02	1.1790	0.6903
NY 5:00 PM	136.48	0.9972	136.12	1.1838	0.6981
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,291.78	322.55	日本2年債	▲0.0900%	0.0000%
NASDAQ	12,639.27	207.74	日本10年債	0.2300%	0.0100%
S&P	4,199.12	58.35	米国2年債	3.3732%	▲0.0285%
日経平均	28,479.01	165.54	米国5年債	3.1573%	▲0.0784%
TOPIX	1,976.60	9.42	米国10年債	3.0305%	▲0.0781%
シカゴ日経先物	28,690.00	225.00	独10年債	1.3265%	▲0.0335%
ロンドンFT	7,479.74	8.23	英10年債	2.6140%	▲0.0810%
DAX	13,271.96	51.90	豪10年債	3.7130%	0.0770%
ハンセン指数	19,968.38	699.64	USDJPY 1M Vol	12.02%	0.08%
上海総合	3,246.25	31.04	USDJPY 3M Vol	11.40%	▲0.29%
NY金	1,771.40	9.90	USDJPY 6M Vol	10.99%	▲0.15%
WTI	92.52	▲ 2.37	USDJPY 1M 25RR	▲0.23%	Yen Call Over
CRB指数	296.75	▲ 2.12	EURJPY 3M Vol	11.99%	▲0.36%
ドルインデックス	108.47	▲ 0.21	EURJPY 6M Vol	11.86%	▲0.22%

東京	東京時間のドル円は、137.11レベルでオープン後137.20まで上昇するも、その後は実需とみられるドル売りの流れに下落し137円を割り込む。仲値後にもドル売りが継続し136円半ばまで下落。押し目買いに小反発するも、ジャクソンホール会合等イベントを控えて様子見色が強まる中、方向感に乏しく136.65レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.65レベルでオープン。26日にジャクソンホールでのFRB議長講演を控える中、ドル円は前日24日とレンジ内で推移。136.32-68で取引され136.38レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は137円台前半でスタート。137.20まで上昇する場面もあったが、26日にジャクソンホール会合を控える中、その後は持ち高調整の売りが先行し、136円台半ばまで下落。売り一巡後はもみ合い、136.38レベルでNYオープン。朝方は米金利が上昇したほか、米新規失業保険申請件数や第2四半期米GDP改定値が予想以上に強い結果だったことから買い戻し優勢となり、136.95まで上昇。しかし、米金利がその後の伸び悩んだほか、ロンドンフィクシングにかけて強まった欧州通貨に対するドル売りが重しとなり、136.60近辺まで反落。午後は136.86まで上昇するも、イベント前で様子見ムードが広まる中、買いは長続きしなかった。終盤は136.50近辺で小動きとなり、136.48レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは0.9970近辺でスタートし、イベント前のユーロショートカバーが先行。パリティレベルを回復すると、短期的なストップスを巻き込みながら1.0033まで急伸するも、その後はじりじり下落し、再びパリティ割れとなり、0.9977レベルでNYオープン。朝方は方向感無くスタートするが、ロンドンフィクシングにかけては前日24日と同じくユーロのショートカバーが強まり1.0000をタッチ。しかし上げできず、その後は安値の0.9949まで下落。午後は0.9912レベル半ばでもみ合い、結局、0.9972レベルでクローズ。

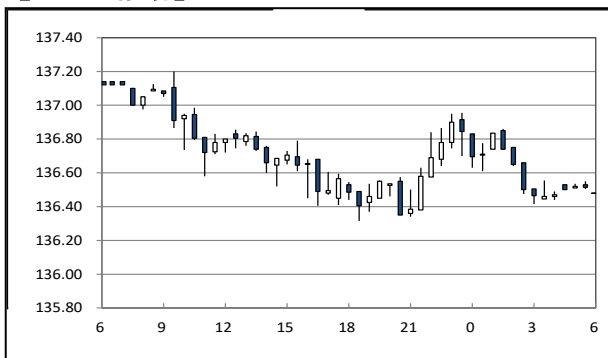
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月25日	15:00	独 GDP(前期比)・確報	2Q 0.1%	0.0%
	17:00	独 IFO指数(企業景況感/現状/期待)	8月 88.5/97.5/80.3	86.8/96.0/79.0
	21:30	米 新規失業保険申請件数	20-Aug 243k	252k
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q S -0.6%	-0.7%
	21:30	米 個人消費	2Q S 1.5%	1.5%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	2Q S 4.4%	4.4%

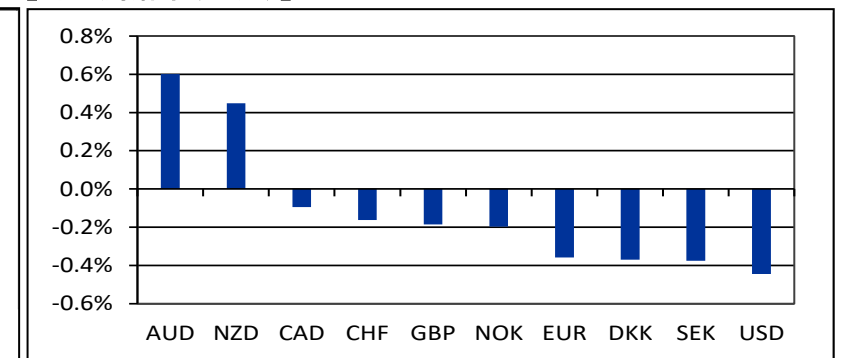
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月26日	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	7月 1.4%	1.8%
	21:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	7月 0.0%/6.4%	1.0%/6.8%
	23:00	米 ジャクソンホール パウエルFRB議長 講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	8月 55.4	55.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.00-138.00	0.9900-1.0100	135.50-137.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は小幅に下落。イベント前で積極的な取引が控えられる中、実需勢やポジション調整からドル売りが先行する展開。137円を割り込んだ後も、パリティ割れまで売られていたユーロを買い戻す動きがドルの重しとなり、ドル円は136円台前半まで下落。NY時間に発表された米経済指標が市場予想を上回ったことで、137円手前まで上昇する場面もあったが、ドル買いは継続せず、結局136.48付近でクローズ。ドル円は139.39(7/14)から130.39(8/2)まで調整した後、相次ぐFedのタカ派発言を受け、直近高値と安値のちょうど中間地点まで戻ってきた。米金利についてもほぼ同様であり、本日、日本時間23時から開始されるジャクソンホールでのパウエルFRB議長の講演内容次第では上下どちらにも動く余地がある状況。しかし、鈍化したとはいえインフレは高止まりしており、タカ派スタンスが維持される可能性は高く、ドル円は底堅い展開を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・木村